

鹿骨授業スタンダード推進指導案（社会科）

1. 指導者 藤田 要子
2. 会場 3年3組 教室
3. 指導学級 3年3組（計31名）
4. 単元名 現代社会の特色と私たち
5. 単元の重点とする目標

現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化について理解する。

6. 単元指導評価計画（5時間扱い）

㊟知識・技能 ㊞思考・判断・表現 ㊟主体的に学習に取り組む態度

時	学習目標	学習活動	評価規準との関連			評価規準(評価方法)	具体的な生徒の姿
			知	思	主		
1 本 時	現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化について理解しよう。	イラストや写真から特色を読み取り思考ツールを使ってわかりやすく分類する。		○		㊞ T市の街の様子を説明することができる。 (発表の様子)	対話的な活動を通して考察し適切に表現している。生徒がお互いに意見を発表し合っている。
2	持続可能な社会とはどのような考えに基づいているかを理解しよう。	身の回りで感じる現代社会の課題にはどのようなものがあるか、グループで意見を交換する。		○	○	㊟㊞持続可能な社会の実現により必要な態度とはどのようなものか、社会参画と関連付けて考察し、表現している。(発表の様子)	グループでの話し合いを通して社会参画について自分のものとして、具体的に発表し合っている。
3	グローバル化とは生活や社会のどのような変化か具体的な事例を通して理解しよう。	グローバル化について具体的に考察し、グループ内で発表しよう。		○		㊞グローバル化の進展で生活や社会が豊かで便利になった点や課題について考察し、表現できる。 (発表の様子)	話し合いを通してグローバル化の良い点や課題を理解している、
4	少子高齢化の原因や課題を理解しよう。	本文の読み取りを通して少子化の原因を見つける。	○	○		㊟少子化の原因として考えられることを本文の読み取りを通して理解している。(ノート) ㊞身近な地域での少子高齢化への対応を調べる活動を基に高齢者支援・子育て支援について考察し表現している。(ノート)	少子高齢化の話し合いを通して医療の進歩やライフスタイルの変化について、意見を発表し合っている。
5	情報化と社会の仕組みと変化について理解しよう。	AIやIoTの具体例を挙げ、社会の変化をまとめる。		○	○	㊞AIやIoTなどの新しい情報技術の導入が進展していることを知りそれによってもたらされる社会の変化について整理している。(ノート) ㊟現代社会の特色について、自分の考えをもとうとしている。	自分たちの身の回りの情報化の具体例を挙げて話し合い、意見を発表し合っている。